

# 事業の進捗状況



## 1. 事業の進捗状況

- (1) 公園全体
- (2) 棚田ゾーン
- (3) 森のゾーン
- (4) 水と緑のゾーン・自然保全ゾーン

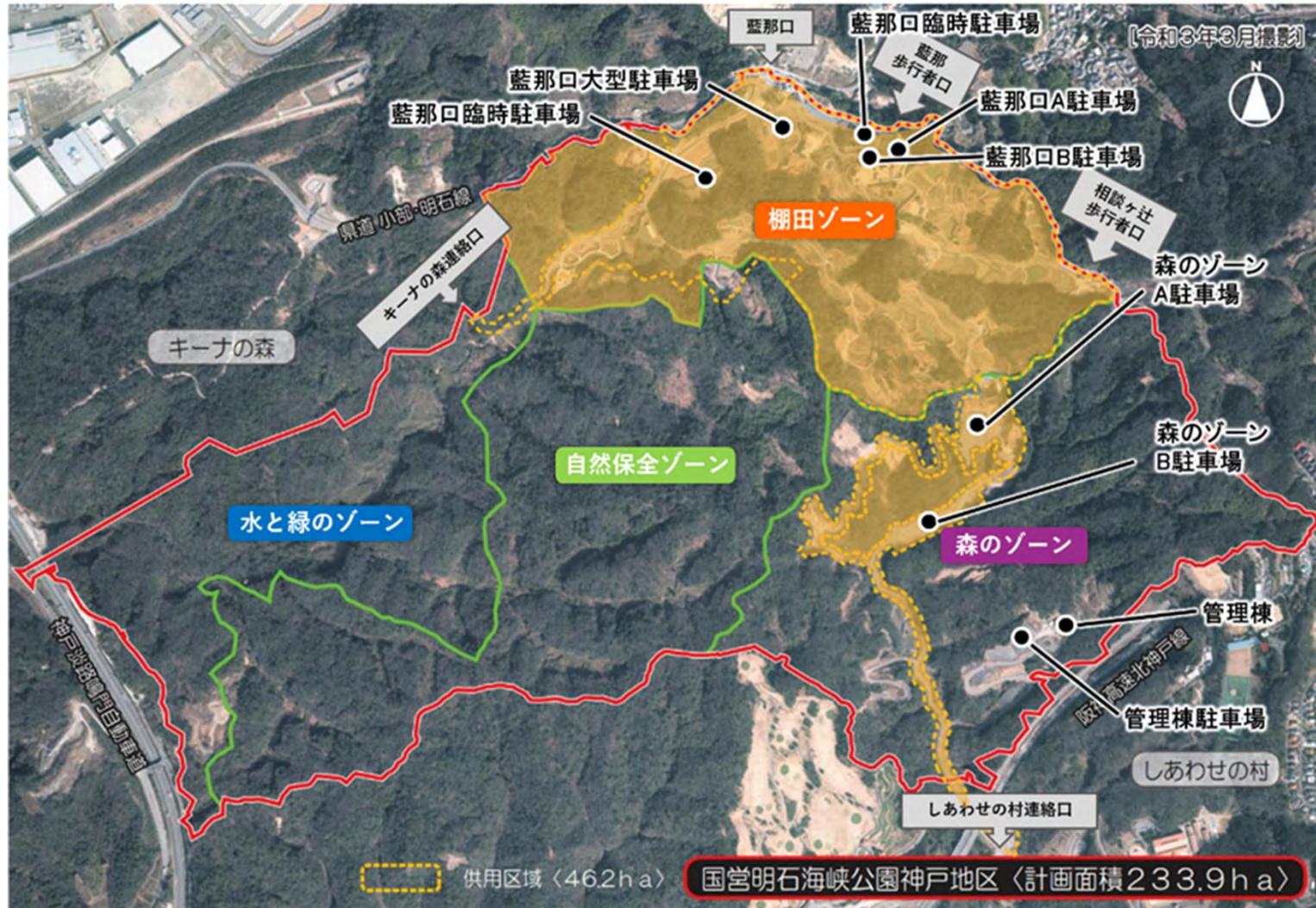
## 2. 神戸地区の隣接施設の状況



# 1. 事業の進捗状況 (1) 公園全体

- 神戸地区は計画面積233.9haのうち46.2haを供用。約8割が未開園であり効率的・効果的な整備推進が必要
- 第Ⅰ期開園の主要エリアである「棚田ゾーン」は整備を概成
- 国営明石海峡公園整備・管理運営プログラム（令和3年6月）において、令和7年度までの重点事項の一つに「森のゾーン」の整備推進を位置付け

## ■神戸地区の供用区域



## ■森のゾーンの供用施設



# 1. 事業の進捗状況 (2) 棚田ゾーン

## 棚田ゾーン

- 懐かしい農村的風景を構成した憩いと多目的な体験空間で、美しい棚田や里山林を展開する中に、農村的空間利用のための施設を配置する。



### 茅葺き民家群 ▶ 供用中

茅葺きの民家や農村舞台の移築・再生等により、小規模な農村集落のたたずまいを再現して、自然と共生した伝統的な農村での生活を紹介します。棚田ゾーンのゲート空間としての機能も持たせる

### 棚田と美林 ▶ 供用中

棚田や樹林をつくり、伝統的な里地里山風景を整備

### 耕作楽園 ▶ 供用中

気軽に野菜づくりや花の景色が楽しめる場とする

### 溪流広場 ▶ 供用中

木見川の流れや小滝等を活かした遊びと憩いの空間を整備

### ボランティア活動拠点 ▶ 供用中

里山管理や利用プログラムを担う市民の活動拠点を整備

### 藍那口エントランス ▶ 供用中

藍那地区と繋がるエントランスであり、藍那口から利用拠点となる施設を整備



# 1. 事業の進捗状況 (2) 棚田ゾーン

- 棚田ゾーンは面積約53haのうち約42.4haを供用中
- 主要施設は茅葺き民家群、里山交流館、白拍子棚田、だんだん畑、めだか池、里山美林等
- **里山プログラムの開催や市民活動団体の取組が集中的に実施されているゾーン**

1 茅葺き民家群



2 里山交流館・木工棟



3 白拍子棚田・だんだん畑



4 小野水田



5 めだか池



6 つつじの広場



7 里山美林





# 1. 事業の進捗状況 (3) 森のゾーン

## 森のゾーン

- 現況環境を活かした風景の中で、森を中心とした子どもの遊びなど幅広い余暇活動や自然環境について学習を行う施設を配置する。また、神戸地区の中核としての機能を持った施設を配置する。



### 遊びの森 ▶ 一部供用中

樹林や棚田を活かした遊びの空間を整備。野の花や生きものとのふれあいを通した学びを提供する

### ユニセフパークゾーン ▶ 未整備

里地里山の中で公園づくりの活動を通じて子どもたちが交流し、異文化を体験しながら世界の自然環境問題などを学ぶ空間とする

### 管理棟 ▶ 使用中 (未供用区域)

神戸地区の管理運営施設を整備

### ビジターセンター ▶ 未整備

神戸地区全体の中核的施設として、各種の利用者へのサービス、情報提供、各種展示、休憩等を行うための施設を整備

### 白川口エントランス ▶ 供用中

「しあわせの村」と繋がるエントランスであり、しあわせの村連絡口からの利用拠点となる駐車場、バスストップ等の施設を整備



# 1. 事業の進捗状況 (3) 森のゾーン

- 森のゾーンは面積約68haのうち約3.5haが供用中で、主要施設は入園ゲート、駐車場、遊具、トイレ、管理棟等
- 令和3年度に「森のゾーン」における民間活力導入に向けた官民対話（マーケットサウンディング調査）を実施したところ、11者の民間事業者から宿泊事業や飲食事業、自然を活かしたアスレチック遊具の運営等の提案

1 しあわせの村連絡口ゲート



2 森のゾーンA駐車場



3 森のゾーンB駐車場



4 遊びの森大型すべり台



5 管理棟周辺



6 里山広場（工事实施中）



R2より、プレーパークをイベント開催

# 1. 事業の進捗状況 (4) 水と緑のゾーン・自然保全ゾーン

## 自然保全ゾーン

- 豊かな自然環境を保全するため、自然環境を管理するための施設及びこれを利用するための施設などに限定して配置する。また、公園に隣接する自然地との生態系ネットワークの保全・形成に配慮する。

## 水と緑のゾーン

- 淡路地区と繋がる広域交通網からのエントランスとして便益施設を配置する。また、公園に隣接する自然地との生態系ネットワークの保全・形成に配慮する。

### 【自然保全ゾーン】

#### 自然環境保全重点区域 ▶ 未整備

既存の土地を活かして草地管理や樹林管理など里山的な土地利用を行い、そのフィールドで自然観察や里山体験などのプログラム利用を中心とする

#### 自然生態園 ▶ 未整備

持続的な里山管理を行い、観察会、維持管理作業イベントなどプログラム利用を中心に行う

#### 散策の森 ▶ 未整備（一部のみ整備・供用）

谷地田、せせらぎ、樹林地等の豊かな里山林等を鑑賞できる園路等を整備

#### その他 ▶ 未整備

地域の貴重な動植物の一時避難地として、適地を利用する。

### 【水と緑のゾーン】

#### 木見口エントランス ▶ 未整備

淡路地区と繋がるエントランスであり、木見口からの利用拠点となる施設を整備

#### 散策の森 ▶ 未整備

ため池、谷地田、木見川、樹林地等の水生植物等を観賞できる園路等を整備



# 1. 事業の進捗状況 (4) 水と緑のゾーン・自然保全ゾーン

- 自然保全ゾーンは面積約69haのうち約0.3haを、水と緑のゾーンは面積約44haのうち約0.02haを供用中
- 両ゾーンで、多様な動植物の生息・生育環境として保全しながら、獣害対策等を実施

1 ススキの群生 (茅場計画地)



2 キーナの森連絡口



3 棚田跡



4 管理用通路 (水と緑のゾーン)



5 林地を流れる小川



6 管理用通路 (自然保全ゾーン)



7 ため池



# 1. 事業の進捗状況 (4) 水と緑のゾーン・自然保全ゾーン



## 2. 神戸地区の隣接施設の状況



### キーナの森 (面積64.5ha 平成29年7月開設)

- 本公園と一体で「生物多様性保全のシンボル拠点」として神戸市が整備・管理
- 市民参加の里山保全活動により、希少種の保護を含めた豊かな生物多様性の保全・育成とともに、環境学習や市民活動の拠点として活用



〈出典〉・神戸市公園緑化協会HP

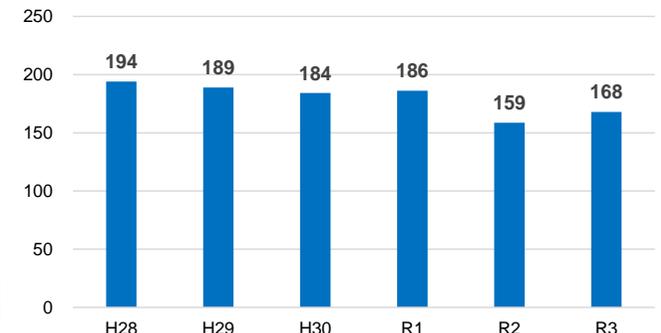
### しあわせの村 (面積205ha 平成元年4月開村)

- 高齢者・障がい者の自立や社会参加を支援する福祉施設と都市公園を神戸市が一体的に整備・管理する複合施設
- 福祉施設、宿泊・温泉施設、プール・体育館、運動広場・テニスコート、キャンプ場、アスレチック等多様なスポーツ・レクリエーション施設があり、年間150万人以上が利用
- しあわせの村から本公園への移動手段として無料送迎バスを定期運行



多様な施設の例

(万人) しあわせの村 年間利用者数



〈出典〉・しあわせの村HP